

社会

第3学年

育成を目指す資質・能力【課題発見力】【論理的思考力】【コミュニケーション能力】【主体性】

## 店ではたらく人びとの仕事

### 【単元の概要】

各家庭の買い物調べの結果の交流を通して、「どの家庭もスーパーマーケットの利用が一番多い。」という結果に児童は疑問をもち、人々を引き寄せるスーパーマーケットのひみつを探していきます。家の人への聞き取りやスーパーマーケットの見学を通して、消費者と販売者の両方の立場から「販売」という仕事にせまり、販売者の工夫について考えていきます。

### ◆単元の目標

買い物調べの結果から全体的な傾向をつかみ、学習課題を設定し、予想を立て課題解決の見通しをもつ。消費者への聞き取り、スーパーマーケットの見学を通して、消費者と販売者の両方の視点からスーパーマーケットの仕事の工夫について多角的に捉えることができる。

### ◆単元の計画（全12時間）

#### 【情報の収集、整理・分析、課題の設定（2時間）】

- ・家の人が、どの店で、どのような品物を買っているのか調べる。（家庭学習で1週間）
- ・各家庭の買い物調べの結果を地図やグラフにまとめることを通して、各家庭の買い物の傾向をつかみ、「三原市にはたくさんの店があるのに、なぜ多くの客がスーパーマーケットを利用するのか」という単元を通じた学習課題を設定する。学習課題に対する予想を考え、何をどのような方法で調査するかという学習計画を立てる。

#### 【情報の収集、整理・分析（8時間）】

- ・スーパーマーケットを見学し、お客さんがたくさん来るような店内の工夫を探る。
- ・同じ商品でも少量パック、大量パック、ばら売りがあるなど、販売量が違う理由を考える。
- ・鮮魚、精肉、惣菜、レジなどで店員の服装が違う理由を考える。
- ・販売に直接関係のない「リサイクルコーナー」を設置している理由を考える。
- ・通常時と安売り時の玉子の価格を比べ「なぜ、売上げが少なくなるのに安売りをするのか」という課題を設定し、安売りをしても売上げが少なくなる販売の工夫を考える。
- ・複数のスーパーマーケットの駐車場の広さを比較し、「なぜ、店によって駐車場の広さがちがうのか」という課題を設定し、消費者の買い物の目的や商圏の違いを考える。
- ・商品のポップを調べ、さまざまな地域から商品を仕入れている理由を考える。
- ・購入商品の配達サービスや、インターネット販売が増加している理由を考える。

#### 【まとめ・創造・表現（2時間）】

- ・スーパーマーケットで働く人達の工夫についてまとめる。他のお店（コンビニエンスストアなど）の工夫との共通点や相違点について考え、販売形態が違っても消費者のニーズに応じた販売者の工夫についてまとめる。
- ・たくさんのお客さんが買い物に来たくなるような店内の配置やサービスを考えて新しいスーパーの配置図を作り、販売者と消費者の両方の立場から販売の仕事についての理解を深める。

## その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
社会	3	わたしたちのくらしとまちではたらく人びと ～店ではたらく人々の仕事～
	3	わたしたちの住んでいるところ ～わたしたちの市のようす～
	4	安全なくらしを守る ～なくそう、こわい火事～
	4	住みよいくらしをつくる ～ごみのしまつと活用～
	5	わたしたちの食生活と食料生産 ～米作りのさかんな地域～
	5	わたしたちの食生活と食料生産 ～水産業のさかんな地域～
	6	わたしたちのくらしと政治 ～わたしたちの願いと政治の働き～
生活	6	武士による政治のはじまり ～源氏と平氏の戦いと鎌倉幕府～
	1	じぶんで できるよ ～チャレンジ だいさくせん～
	1	なつだ あそぼう
	2	うごく うごく わたしのおもちゃ ～あつまれ！おもちゃフェスティバル～
	2	大きなあれ わたしのやさい